

令和2年度 福祉のまちづくり研究所企画運営委員会 【事後評価】

No.	研究課題名	コメント
1	モーションパラメータ臨床技術開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的にニーズの高いテーマに取り組み、着実に成果を上げている。</li> <li>・フレイル対策やロボット技術の活用で介護予防の実践に貢献できるところが大きい。</li> <li>・高齢者の予防介護へのAI 技術を適用範囲の拡大と学習データ取得のための生体信号センシングする先駆的な取り組みとして種々の副次的効果を生み出している。</li> <li>・Body-KINIによるデータ集成を評価する。</li> </ul>
2	介助用車椅子の安全な移動情報提示に関する研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に、円滑に移動できる経路探索が容易に行えれば、車いす利用者の行動範囲も広がりQOLの向上につながる。</li> <li>・自立した安全な移動の実現のためにどこまで現場の状況を把握できるかという観点。</li> <li>・近年のICT 技術を活用して高機能化する「車椅子」の移動に対する安全性向上を検討することは重要な課題であり、先駆的な取組として高く評価できる。</li> <li>・ブレーキカに注目したことは評価できる。</li> </ul>